



YOKOHAMA
MOTOMACHI
CraftsmanshipStreets



裏元町のクラフトマンシップ。

motomachi

face

no.43

仲通りメール 通巻95号 令和8年7月 2026(夏)

梶元町HISTORY 10

元町賑考



元町を識る資料

■資料は語る

元町の歴史を知る方法は写真や動画といった映像情報そして記録文字情報など、数多くある。中でも開港150年を記念して2008(平成20)年に発行された「横濱元町古今史点描」は元町基本資料として最もまとまった書籍といえるだろう。約370ページに、横浜村の原風景から開港によって劇的な変化を遂げ、昭和に至る元町の歴史を丹念に文字資料から拾い起こし元町商店街の変遷をわかりやすく紹介している貴重書である。

この資料は文字だけではなく、画像資料として戦前の手彩色絵葉書や明治期の人物録も紹介することで多角的に元町像を想像することができる資料集でもある。

今回この「横濱元町古今史点描」から大いなるヒントを得て、いくつかの戦前資料から元町のにぎわい史の断片を抽出してみることにした。題して「元町賑考」。

戦前の元町出店マップを作成してみた(右下参照)。作図結果はかなり細かくなってしまったので詳細は別の機会にして、ここではマップ全体の傾向を見て欲しい。

■元町史の特徴

開港のために村全体が移動再編しなければならなかった元町は、関内居留地と山手居留地、運河と橋、丘と坂とに挟まれた(増徳院)門前町からスタートした。運河には栈橋機能を持った階段護岸(雁木)がいくつか設置され、幕末に設置された谷戸、前田、西の三つの橋が元町と居留地を結んだ。その後、西ノ橋まで路面電車が走り、麦田トンネルを経由して本牧へと延伸すると交通拠点となる。震災で増徳院が移り、震災後は商店を軸にした街が形成され現在に至る。

■坂と橋とにぎわい

下記マップは明治・大正・昭和初期に発行された「横濱姓名録」と大正・昭和期の資料「横濱商工業内」等、四つの商工関係資料を元にして、地番毎にプロットしたものである。

基本数年分のデータ範囲内ではあるが、全体を俯瞰してみると開港によって新しく形成された元町は、橋と坂を軸線に商店が発展してきたことが改めて実感できる。

個別に見ると代官坂はかなり上部から運河栈橋に行き着くまで、商店が集中していることが判る。代官坂下の栈橋設置時期は不明だが、ここに千葉からの定期便が発着していたというお話も伺ったことがある。堀川は戦後まで東京湾房総水運航路として活用されていた。

次に、前田橋から百段を繋ぐ<百段通り>が一目瞭然、所狭しと繁盛店が並んでいる。資料の範囲内ではあるが元町で最もにぎわいがあったと想像できる。特に元町百段は震災前まで元町の観光名所でもあったこともあり明治期から多くのお店がこの通りに出店していたと思われる。

残念ながら元町百段は震災で被災し復活することはできなかったが、その後もこの通りは元町の重要な交差点となっている。

谷戸坂付近は開港後イギリス・フランス両軍の駐屯地でもあり、明治期にも早くから店が立ち並んだ。(現在は山手町に換地)

さらに貝殻坂と代官坂が交わる現在の元町公園付近に旅館がまともだったのも興味深い。港を遠望できる景色の良い宿だったのかもしれない。

今回は大雑把に紹介したが、さらに深掘りしていくと元町のにぎわい風景がさらにはっきりしてくるだろう。戦後運河が街の要素から消えてしまったが、谷戸橋近くに新栈橋計画も進む中、橋から坂へと繋がるにぎわいも確実に復活しているように感じる。路地裏活性が、商店街のにぎわいの根っこにあるのは間違いないだろう。



戦前元町出店地番マップ(位置は正確ではありません)



河北直治

横浜界限研究者。横浜路上観察学会世話人。趣味は市内徘徊、市境を川崎市から横須賀市まで三回踏破、市内全駅下車など歩くことが大好き。

Double Moon Coffee

朝の時間を大切にした、ロースタリーカフェ



横浜市中区元町3-138
【営業時間】
9:00~17:00
【定休日】
火曜日・水曜日

Rogers Tomoko
Rogers Ben



ドアを開けると優しい色調の大きなアクリル画が目を引きまします。いくつか飾られた店内の絵はすべてTomokoが描いたもの。ポストカードとしても販売しています。

また店内のどこかにあるドルフィンマークはBenがかつてネイビーの潜水艦乗りだったことの証。探してみてください。15年前、小さなマシンでBenがペランダで始めた趣味の焙煎がDouble Moon Coffeeの原点です。煎りたて、挽きたてのコーヒーと手作リデザートで一日を始めませんか。

ランチには、懐かしい昭和のお母さんスタイルの「スパイシーポークカレー」も人気。豆サラダがついているのも嬉しいですね。

●NOTE: 月曜日は焙煎日。豆を1kgづつ店内で焙煎します。もちろん足りなくなれば週の途中でその都度焙煎。裏元町にコーヒーの香りが漂います。大きなBenが繊細に淹れる豊かな香りをお楽しみください。Benのハンドドリップコーヒー750円。ご自宅用の豆は900円/100g、1,700円/200gです。



デザート3種。Benのいちごのパバロア、レモンライムパイ、濃厚ガトーショコラ。すべて手作りで、各600円。コーヒーとの相性は抜群です。

アロマ×整体 アロムティユル

頑張る大人女性の深い疲れに寄り添うサロン



横浜市中区元町3-132H'Sビル202
TEL: 090-6976-3828
【営業時間】
10:30~22:30
【定休日】
不定休

セラピスト
北郷 千絵



夜勤明け、働きすぎ、眠れない夜。更年期のモヤモヤやほてり、ストレスからくる緊張や寝つきの悪さ、整体だけでは足りない…そんな女性のためのプライベートサロン。カウンセリングを通じて、ひとりひとりにあったアロマをチョイス。好きな香り、いま必要な香りを選んでいきます。5~7種類をブレンドして世界に一つだけの精油が完成。香りを感じて頂きながらケアしていきます。

たとえば肩こりの原因はデスクワーク、姿勢の悪さなど様々。原因を探し、根本から改善します。香りの力を活かし、自律神経の乱れや呼吸、身体の歪みにフォーカス。アロマ×整体の融合で“ゆるみ”と“巡り”を同時に促進。心も身体も深呼吸できる時間をお約束します。

●NOTE: セラピストになったきっかけは自身が「頭痛もち」だったことから。頭痛にはラベンダーとペパーミントのアロマが良いと友人から聞き、スクールに通って勉強を始めました。老舗旅館のスパサロンの施術からはじまり、その後様々なケアの経験を積み独立。昨年、元町で開業、セラピスト13年目。



約50種類の精油の中から、お客様に合わせてブレンド。使用するのには世界レベル認証オーガニック アロマティックオーガニクスの精油。

たまや元町店

うまい魚介とお酒を、気軽に



横浜市中区元町3-141
TEL: 045-274-0766
【営業時間】
平日11:30~14:30/17:00~21:30
土曜日・日曜日・祭日11:30~22:30
【定休日】
水曜日・不定休

店長
福島 秀樹



2012年に汐汲坂の入り口で炭火焼き鳥の店として開店。黒い看板と赤提灯が目印です。2025年より鮮魚の店として再出発して一年が過ぎました。お魚は地産地消をモットーに、横浜中央卸売市場本場より買参加権を取得し買付け。姉妹店が港南台や伊勢佐木町にもあるので、一括仕入れをすることで良いものをより安く提供できています。本マグロは特に評判がいいですよ。

また、かまぼこは「鈴廣」、海苔は横浜老舗海苔問屋の「蕨金商店」。これも地産地消ですよ。日本酒との相性も間違いない。日曜もやっているランチタイムは、お腹いっぱい召し上がっていただきたいので、ごはんの大盛りは無料です。おかわりも遠慮なくお声掛けください。

●NOTE: 毎月10日は魚魚の日。Instagramやfacebookのフォローで季節ごとの新鮮なお魚が特別価格。1階はカウンター席もあり、おひとり様のちよい飲みにも最適。2階には1日1組限定の完全貸切の個室もご用意しております。(10名様まで。要予約)



一番人気の「たまや盛り」1,430円。好きな日本酒とどうぞ。たまや盛りが、ご飯に乗った「たまや丼」も好評です。

atelier EN motomachi

色を楽しむ手仕事をお届け



横浜市中区元町3-143-1F
TEL: 045-900-8772
【営業時間】
11:00~18:00
【定休日】
月曜日・不定休

金 弘美
金 桃子



色を楽しむ手仕事を通して、いつもの暮らしがちょっとだけ明るくなるような時間をお届けしたい…そんな想いでアトリエを開きました。

ENのリボンバッグは、ご注文があってから、ひとつずつの作成。鮮やかなサテンリボンをかぎ針で編んでいきます。型と色は、店頭にあるサンプルから、お好みに合わせてお選びいただくセミオーダーシステム。約1週間前後でのお届けを予定しておりますが、ご注文状況によっては少しお時間をいただく場合がございます。6,800円~8,800円 (送料無料)

また、海外でセレクトしたお洋服も販売中。現在はアジアを中心に毎月買い付けに出かけています。ぜひ店頭でご覧ください。

●NOTE: スペインの極太糸(チャッキーニット: 中に綿の入ったふわふわの糸)を使った、手編みミニバッグのワークショップも開催中。ものづくりの楽しさを体験してみませんか。編み物が未経験の方でも、一から丁寧にサポートします。参加費6,500円 (材料費含む)



真っ白な壁に鮮やかな原色のバッグが並ぶ。全10色。ベーシックジカラのファッションに差し色として使えばコーディネートがワンランクアップ。



らーめんとお酒が楽しめる

らーめん二郎人

中区元町1-54-1 リブレ元町

TEL : 045-275-3700

定休日 / 水曜日ほか

営業時間 / 11:30~15:00 18:00~



イタリアン レストランテ

La Collina

中区元町1-75-4

TEL : 045-414-5911

定休日 / 不定休

営業時間 / 12:00~ (19:00最終入店時間)

La Collina



handmade items/selected clothing/workshops

atelier EN motomachi

中区元町3-143-1F

TEL : 045-900-8772

定休日 / 月曜日・不定休

営業時間 / 11:00~18:00



ストレッチ専門店

汐汲坂ストレッチ

中区元町3-143アトリエ元町203

TEL : 045-274-5252

定休日 / 火曜日・金曜日

営業時間 / 11:00~20:00



自家焙煎珈琲と軽食カフェ

Double Moon Coffee

中区元町3-138

定休日 / 火曜日・水曜日

営業時間 / 9:00~17:00



元町汐汲坂の完全予約制鉄板焼き店

汐汲坂IWAKUNI鉄板焼

中区元町4-158-2モントーンハウス1F

TEL : 045-211-6706

定休日 / 火曜日・不定休

営業時間 / 12:00~21:00

(夜の時間は完全予約制)



フィギュア制作事務所

emDASH STUDIO

中区元町5-206-1

TEL : 080-5589-6225



眼科診療所

元町眼科

中区元町5-209北村ビルII 302

TEL : 045-661-1166

定休日 / 木曜日・日曜日・祭日

営業時間 / 月9:45~12:30 14:00~17:00

火・水9:45~12:30 14:00~17:30 金・土9:45~12:30



第24回 横浜元町フードフェア2026 開催決定

2026年10月3日(土)・4日(日)

発行 / 商店街振興組合 元町クラフトマンシップ・ストリート 広報委員会

横浜市中区元町3-132 HSビル204号 TEL.045-663-1413 制作 / (有) デイブレイク